

電気料金引き上げ、物価上昇のなか **吹田市の** 4億円の負担増予算 **可決**

日本共産党は予算の
組み替えを提案

維新流政治と対決



3月1日から27日まで新年度予算を審議する3月定例議会が開かれました。代表質問には山根たけと議員が、個人質問には他の7人が立ちました。

日本共産党は使用料や手数料などの市民負担増は4億円、昨年の事業見直しなどにより引き続き16億円の市民サービスのカットを行う予算案に反対しました。市民に展望を示すため日本共産党は予算の組み替えを提案しましたが賛成少数で否決され、市長提案が可決されました。



組み替え提案

1	公立保育園の延長保育料の有料化を行わないようにする。
2	延長保育を無料で行っている私立保育園への運営費助成を継続する。
3	保育料の引き上げを行わず現行保育料を継続する。
4	課税世帯の障がい児・者への負担軽減策を継続する。
5	旧公害指定地域の、大気汚染による喘息患者への医療費助成の認定を継続し、負担軽減を図る。
6	はり・灸・マッサージ助成を継続し、高齢者の健康を保持する。
これに必要な額は約1億8000万円。財源は財政調整基金を取り崩す。元氣臨時交付金等の交付により不要となる一般財源も考えられる。	

賛成	
日本共産党	8人
無所属ク	1人
みんな	1人
反対	
公明党	7人
民主	5人
自民党	5人
市民自治	2人
市民クラブ	1人
いきいき	1人

*吹田新選会は市長提案にも日本共産党の組み替えにも棄権。
*会派の正式名称 / 共産党(日本共産党)、公明党(公明党)、民主(民主市民連合)、自民党(自由民主党絆の会)、新選会(吹田新選会)、市民自治(すいた市民自治)、いきいき(吹田いきいき市民ネットワーク)、みんな(みんなの党吹田)、市民クラブ(すいた市民クラブ)、無所属ク(無所属クラブ)

吹田市老人医療費助成制度の
廃止を1年延期する条例

日本共産党が議員提案 自・公・民が反対

事業見直しにより、H25年7月末で吹田市独自の「老人医療費助成制度」が廃止され、「65歳以上の一部負担金助成制度」が縮小になります。国が70歳以上の窓口負担を引き続き1割に凍結したことに伴い、吹田市でもせめて1年間は廃止を延期することで、低所得の高齢者が安心して受診できるように日本共産党が条例改正提案を行いました。賛成少数で否決されました。

市民に痛みを押し付ける「維新流の政治」に議会の態度が問われています!

賛成	
共産党	8人
市民自治	2人
市民ク	1人
無所属ク	1人
みんな	1人
反対	
公明党	7人
民主	5人
自民党	5人
新選会	3人
いきいき	1人

	現行制度	変更内容	対象者	影響額
老人医療費助成制度廃止	65歳~69歳 非課税は3割→1割に軽減	H25年7月末廃止	1961人	1年間で 2億円のカット
一部負担金相当額等助成制度 予算カット	65歳以上で身体障害 1~4級またはA、B1 窓口負担1回500円	H25年8月から75歳以上の 身体障害3・4級、知的B1は 非課税世帯のみに限定	2617人中 1284人が 対象外に	1年間で 5000万円 のカット

負担増

一人につき1075円

暮らしはどうなる

働く人の所得は1997年から2011年の14年間で88%まで落ち込んでいます。市長は福祉削減や負担増をおしつけることで、吹田市の財政が改善したと「成果」と誇っています。

公共施設の使用料の
減免基準を強化により

7712万2000円

施設使用料引き上げ

1億1768万2000円

がん検診などの
自己負担アップで

1億592万円

保育料引き上げ、延長
保育料の有料化で

1億3910万1000円

住民票など主な
手数料引き上げ

3355万5000円

